



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月12日

上場会社名 SFPホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3198 URL http://www.sfpdining.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 佐藤 誠
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役(氏名) 坂本 聡 (TEL) 03(5491)5869
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	27,268	3.0	2,357	6.6	2,603	7.9	1,990	42.0
29年2月期第3四半期	26,471	—	2,210	—	2,413	—	1,401	—

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 1,989百万円(41.5%) 29年2月期第3四半期 1,405百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	67.67	67.19
29年2月期第3四半期	47.88	47.23

(注) 平成30年2月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	25,728	20,664	80.3
29年2月期	26,257	20,174	76.8

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 20,664百万円 29年2月期 20,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
30年2月期	—	13.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	2.9	3,350	1.3	3,700	3.9	2,450	17.7	83.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	29,324,270株	29年2月期	29,470,000株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	182,345株	29年2月期	30株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	29,418,665株	29年2月期3Q	29,278,624株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境が改善し、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、米国政権の政策動向や地政学的リスクの高まりなどによる世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、全体的な売上こそ堅調に推移しているものの、依然として消費者の低価格志向は根強く、さらに人手不足による人件費や物流費の上昇などにより、厳しい経営環境が継続しております。また、当社グループが主として展開する居酒屋業態につきましては、店舗減少などの影響から、当第3四半期連結会計期間のすべての月間売上が前年を下回る結果となりました。

このような状況の中で当社グループは、経営理念である「時流を先見した『こだわり』の限りなき追求」に基づき、お客様満足度のさらなる向上を追求しつつ、主力業態の店舗展開及び既存店舗の改装、並びに新業態の開発・出店を進めてまいりました。

鳥良事業部門におきましては、「鳥良商店」を新たに9店舗出店し、「磯丸水産」から「鳥良商店」へ1店舗を業態転換したほか、1店舗の閉店により、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は54店舗となりました。その結果、鳥良事業部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は6,101百万円となりました。

磯丸事業部門におきましては、今期の重点施策である既存店の改装を積極的に進めるとともに、「磯丸水産」を2店舗出店したほか、九州エリアにフランチャイズ2店舗を出店いたしました。一方で「磯丸水産」5店舗を業態転換したほか、「磯丸水産」4店舗を閉店いたしました。以上の結果により、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は直営143店舗、フランチャイズ7店舗となり、磯丸事業部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は19,133百万円となりました。

その他部門におきましては、多彩な餃子メニューと豊富な一品料理を取り揃えた新業態「いち五郎」を5店舗出店したほか、「磯丸水産」及び「磯丸すし」から5店舗を業態転換し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は21店舗となりました。その結果、その他部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は2,033百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、店舗閉鎖に係る減損損失149百万円を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数は直営218店舗、フランチャイズ7店舗となり、当第3四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高27,268百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益2,357百万円(前年同期比6.6%増)、経常利益2,603百万円(前年同期比7.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,990百万円(前年同期比42.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ472百万円減少し、11,692百万円となりました。これは主に、売掛金が79百万円増加した一方、現金及び預金が602百万円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ57百万円減少し、14,035百万円となりました。これは主に、有形固定資産が253百万円増加した一方、無形固定資産が203百万円、投資その他の資産が108百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,084百万円減少し、4,037百万円となりました。これは主に、未払法人税等が479百万円、その他流動負債が461百万円減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、1,026百万円となりました。これは主に、長期借入金が46百万円、その他固定負債が46百万円減少した一方、資産除去債務が186百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ489百万円増加し、20,664百万円となりました。これは主に資本金が6,176百万円減少したことに加え、自己株式が344百万円増加（純資産は減少）した一方、資本剰余金が5,786百万円、利益剰余金が1,225百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月14日に発表いたしました「平成29年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,709,301	4,106,760
売掛金	283,241	362,303
原材料及び貯蔵品	103,175	113,419
関係会社短期貸付金	6,000,000	6,000,000
その他	1,069,380	1,110,383
流動資産合計	12,165,098	11,692,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,966,138	10,538,487
減価償却累計額	△3,433,348	△3,608,502
建物及び構築物(純額)	6,532,789	6,929,985
建設仮勘定	20,958	1,121
その他	2,726,181	2,855,875
減価償却累計額	△1,327,105	△1,580,183
その他(純額)	1,399,076	1,275,692
有形固定資産合計	7,952,824	8,206,799
無形固定資産		
のれん	1,663,505	1,458,415
その他	18,099	19,674
無形固定資産合計	1,681,604	1,478,090
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,798,228	3,811,514
その他	668,705	547,362
貸倒引当金	△8,500	△8,500
投資その他の資産合計	4,458,433	4,350,376
固定資産合計	14,092,863	14,035,266
資産合計	26,257,962	25,728,134
負債の部		
流動負債		
買掛金	888,055	977,718
1年内返済予定の長期借入金	145,000	82,500
未払法人税等	787,302	308,043
賞与引当金	443,450	315,676
株主優待引当金	78,188	58,167
店舗閉鎖損失引当金	13,698	6,330
資産除去債務	36,409	21,461
その他	2,729,147	2,267,240
流動負債合計	5,121,251	4,037,138
固定負債		
長期借入金	61,250	15,000
役員退職慰労引当金	45,067	—
退職給付に係る負債	164,660	179,593
資産除去債務	316,966	503,849
その他	373,919	327,708
固定負債合計	961,863	1,026,150
負債合計	6,083,115	5,063,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,682,385	505,862
資本剰余金	7,756,564	13,543,192
利益剰余金	5,733,863	6,959,512
自己株式	△51	△344,260
株主資本合計	20,172,760	20,664,306
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	2,086	538
その他の包括利益累計額合計	2,086	538
純資産合計	20,174,847	20,664,845
負債純資産合計	26,257,962	25,728,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	26,471,555	27,268,448
売上原価	7,558,794	7,826,685
売上総利益	18,912,761	19,441,762
販売費及び一般管理費	16,701,814	17,084,279
営業利益	2,210,947	2,357,483
営業外収益		
受取利息	8,756	11,693
協賛金収入	179,683	198,452
その他	29,403	58,084
営業外収益合計	217,843	268,230
営業外費用		
支払利息	4,960	1,155
不動産賃貸原価	2,989	12,510
その他	7,184	8,393
営業外費用合計	15,134	22,059
経常利益	2,413,656	2,603,654
特別利益		
消費税等免除益	—	713,739
特別利益合計	—	713,739
特別損失		
固定資産除却損	689	78,021
減損損失	124,706	149,747
その他	20,302	12,858
特別損失合計	145,698	240,626
税金等調整前四半期純利益	2,267,957	3,076,768
法人税、住民税及び事業税	891,598	929,321
法人税等調整額	△25,617	156,782
法人税等合計	865,980	1,086,103
四半期純利益	1,401,976	1,990,664
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,401,976	1,990,664

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	1,401,976	1,990,664
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	3,444	△1,547
その他の包括利益合計	3,444	△1,547
四半期包括利益	1,405,421	1,989,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,405,421	1,989,116
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月24日開催の定時株主総会の決議に基づき、平成29年6月30日付で減資の効力が発生し、当第3四半期連結累計期間において資本金6,193,440千円及び資本準備金7,254,940千円をその他資本剰余金に振り替えております。

また、平成29年7月13日、10月13日及び11月22日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式429,000株の取得、平成29年10月13日付で自己株式246,730株の消却を実施し、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が423,730千円減少、自己株式が344,209千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が505,862千円、資本剰余金が13,543,192千円、自己株式が344,260千円となっております。